

2015年 平和特集号

あなたにとって「憲法改憲と9条を守ること」とは

今年は、戦後70年の節目を迎える年になりました。戦時中の悲惨さや不条理さの語り部となる方々も少なくなってきました。そんな中で安倍政権は「戦争法案」を強行採決し、多くの国民が「9条を守れ」「戦争が出来る国にするな」と立ち上がりました。今年の平和特集号はテーマをあなたにとって「憲法改憲と9条を守ることとは」として皆さんの意見をいただきました。

日本国憲法の基本原理は

神東分会 佐々木 陽子さん



する改正は許され
ないが、9条2項を改正して一定限度の軍備を持ち、自衛戦争を認めることは可能としてい
る。

参考まで
憲法9条と自衛隊

憲法、天皇主
権を定めた明治
憲法から、国民
主権を樹立した
日本国憲法。憲
法は本文も前文
も確認すること
ができるだけで
あって、それを
創設したり変更
することはでき
ない。日本国憲
法の基本原理は
平和主義。国民
主権主義、基本
的人権の原理で
ある。更に9条
1項が戦争を永
久に放棄する。
日本国憲法にお
ける平和主義条
項の基本的な要
素である。戦争
の絶対的な放棄
9条の平和主義
そのものを否定

9 条変更否定
 説、憲法が大きい
 掲げる平和主義
 の原則に触れる
 大問題は、国民
 の意思によつて
 決せられるべき
 ものである。
 9 条の変遷否定
 説、憲法制定当
 時においては連
 合国は我が国を
 非武装化を實行
 した。これを我が
 国は喜んで受け
 入れた。しかし、
 その後米ソ冷戦
 の激化、朝鮮戦争
 の勃発その他に
 より事情が変化し、
 国際社会は我が
 国の武装を要求
 してきた。少なく
 も現在の国際情

勢の下では我が国が防衛努力をしない事は許されない状況にある。ただ軍事による抑止力しか方法はないのか？個別自衛権と集団的自衛権では、現憲法のもとでは明らかに違憲であり、いち内閣の憲法解釈で変更できるものではない。立憲主義のもとに現憲法があるのならば政府は日本国憲法の基本原則である。



俺戦争嫌いだ！
北赤羽分会 土田 幸男さん

私は昭和23年、東京都北区生まれ、66歳の塗装工です。難しい言葉は使えません。思い付く事柄を述べて

みます。
小学校の頃、東十条駅前には傷痕（しょうい）軍人がおられ、戦争の怖さ・恐ろしさを感じた次第です。長じて塗装職に就いてからはオイルショックやバブル崩壊、百年に一度の大不況、千年に一度

の大震災などを乗り越え、己の命を削りながらも家業を守ってきた。「そうだったな」とお感じのご同輩も多いと思います。実感している事柄は家業を終えた現在、穏やかに平和に過ごせることも土建諸先輩の励ましが大きいと思います。

す。また曲がりなりにも戦後の日本を大きな戦争に巻き込むことの無かつた時々政府もそれなりに評価できると考えております。

さて、今の安倍政府はどうでしょう。

か。二昔以上も前、世界的に有名な作家が自衛隊本部を占拠し、大きな変革の中

心となる行動を起こしました。彼は自己の力・精神を持って世の中を変えられと考へ実行しましたが、これは失敗しました。安倍首相に憲法改憲や9条の改憲を實踐させれば、必ずや大きな狂氣と權力となり國民を苦しめます。これを止めなければなりません。俺、戦争嫌いだ！



戦争法案反対の集会の様子

何よりも平和が一番です

中央分会 堀田晋作さん



安倍首相は集团的自衛権で地球の裏まで自衛隊を出すと言っております。日本国憲法は権力を携わるものを縛り、弱い者（国民）の人権を守るための法律で

す。憲法の基本原則の一つは基本的人権の保障にあり、人間らしく生きるゆえに当然に保障される民主主義の基礎と言えるものです。安倍政権は自衛隊を米軍に差し出して、戦争法案の成立を急ぎ、ひたすら対米従属していることを考えており、大変に危険なことです。

今、沖縄で独

立の機運が高まつていて、一見荒唐無稽にみえますが、県民の心ひとつです。沖縄戦争では防空壕に火炎放射噴射をして焼き尽くしたり、女学生が集団自決をして若い命が失われており、あまりにもひどい惨状に涙が止まりません。

何よりも平和が一番です。

悲惨な戦争の被害者を作っていない
西ヶ原分会
佐藤 友昭さん



先月、6月末日に駒込の仲間達と大人8人で1泊2日で広島旅行に行っていました。

初めての広島旅行で気持ちも高ぶりながら、厳島神社を観光しました。皆で楽しみながら次の目的地、平和公園に行きました。外国人の方々がたくさんいて異国のようでした。続いて平和記念資料館へ。現在東館が改修工事で本館のみ見学することができました。原爆により被爆した建物や衣類がたくさん展示されており、当時



広島原爆ドームおよび周辺

の悲惨な状況が目に見え、心がいたくなる思い

になりました。中でも当時2歳で被爆し、10年

も経ってから白血病を発症して12年の短い人生で生涯を終えたサダコさんの展示は足を止めてじっくり見ました。平和記念資料館に展示してある資料は戦争の爪痕のほんの一部でしょう。こんな悲惨な戦争の被害者を二度と作らないように、戦争絶対反対の強い気持ちを持ち続けたいと思います。

とめよう戦争法案 北区民集会

7月5日(日)王子駅前公園にて、今国会で採決されようとしている安全保障関連法案(戦争法案)に反対する集会とパレードが行われました。



当日の北区集会の様子

ドでは、沿道からの声援もあり、この法案へ反対する市民が多々いる事を改めて確信しました。法案が衆議院で強行採決され、全国で更に激しく抗議の輪が広がっています。選挙のない今、この法案を廃案にするには、国会や地域集会への行動参加と仲間へのこの問題を伝える、更なる世論の喚起が必要です。団結して法案廃案までがんばりましょう。

就業実態調査のお願い

土建国保組合では、「一人事業主」、「個人事業所に所属する組合員」、「一人親方」200人(北支部所属)を対象に就業実態調査を行っています。調査対象の組合員さんには、既に郵送にて調査依頼のお願いをしています。

現在102名の方が、国保組合への申請が終了しています。37名の方は未提出となっています。締切は9月25日となりますので、申請書類が手元にある方やご連絡を入れさせて頂いた方はご提出のご協力をお願いします。なお、担当書記は井口、江藤、高橋です。

連絡先 03-5390-6021
FAX 03-5959-5766

どけん国保を守ろう 全建総連7・8対都要請行動・中央総決起集会



7月8日、新宿中央公園で「7・8対都要請行動」

を開催しました。代表による各局・都議会各



日比谷での予算要求集会の様子

会派への交渉と国保都費補助金

獲得に向けた個人請願行動が行

われました。午後からは日比谷野外音楽場に移動して「7・8賃金・単価引上げ、予算要求中央総決起集会」が開催されました。「建設



雨の中でのデモ行進でした

国保の育成強化、現場労働者の賃金大幅引き上げを勝ち取る「のスローガンのもと、冒頭の挨拶では「賃金・単価の引上

げ・法定福利費の確保、社会保険未加入対策を最大の課題とし、運動に取り組んできたが設計労務単価に見合う現場労働者の賃金・単価の引上げにいたっていない現場労働者の賃金や労働環境の改善こそが建設産業の後継者を確保するための緊急の課題であると述べられました。

参加した来賓の挨拶がありました。大会決議案を全体の拍手で採択し、閉会の挨拶と団結ガンバロウで終了しました。集会の終了後には、現座へのデモで終了となりました。この日の土建北支部の人数は、54名でした。